

2025 年 8 月 29 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 九 州 経 済 研 究 所

最近の県内景況は、消費関連が上向き、畜産関連が持ち直している。一方、投資関連がやや弱含み、生産活動が弱含みつつあり、雇用情勢が弱含み、観光関連が減少している。全体として回復の動きは続いているものの、食料品を中心とした物価上昇や自然災害などの影響で改善傾向がやや弱まりつつあり、今後の動きに十分注意する必要がある。

生産活動は、5月の鉱工業生産指数が4か月連続で前年を下回った。電子部品・デバイスが前年を上回ったものの、食料品、窯業・土石製品、汎用・生産用機械は前年を下回った。

畜産関連では、7月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5、去勢A4はともに前年を上回った。豚肉は前年を上回り、ブロイラーもも肉、むね肉は前年を大幅に上回った。鶏卵相場は前年を大幅に上回った。

個人消費関連は、7月の乗用車新車登録台数は前年を下回ったものの、6月の百貨店・スーパー販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額、7月の軽自動車届出台数は前年を上回った。

観光関連では、7月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月連続で前年を下回った。種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を下回り、奄美地区は10か月ぶりに前年を下回った。主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を上回った一方、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、6月の有効求人倍率は前月を0.03ポイント下回る1.08倍となった。

【生産活動】... 弱含みつつある

電子部品関連は、EV向けや5G関連の需要が回復していない。一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きがみられるが、価格競争の激化や買い替えサイクルの長期化などにより、回復の動きは鈍い。今後はトランプ関税の影響を注視する必要がある。

6月の焼酎生産は、6か月連続で前年を下回った。芋焼酎がビール、ハイボールなど他の酒類との競争で苦戦しており、出荷量は7か月連続で前年を下回った。

6月のかつお節生産は、4か月連続で前年を上回った。

7月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが2か月ぶりに前年を下回り、民間工事向けは22か月連続で前年を下回り、全体では18か月連続で前年を下回った。

7月の紙パルプ生産は、2か月ぶりに前年を下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】... 持ち直し

7月の子牛の出荷頭数はほぼ前年並み。出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。7月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5が4か月連続で前年を上回り、去勢A4が6か月連続で前年を上回った。6月の枝肉生産量は4か月連続で前年を上回った。

7月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は、4.2%増と2か月連続で前年を上回った。6月の枝肉生産量は前年をやや上回った。

7月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は29.7%増と10か月連続で前年を上回り、むね肉は52.7%増と10か月連続で前年を上回った。7月の処理羽数は前年を上回った。

7月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、全国的な鳥インフルエンザの影響により64.5%増と前年を大幅に上回った。6月の配合飼料価格は3か月連続で前年を上回った。

【消費関連】... 上向き

6月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品は前年を上回り、全体では8か月連続で前年を上回った。

6月の専門量販店販売額は、家電大型専門店、ドラッグストア、コンビニエンスストアのいずれも前年を上回った。

足もとでは大雨や猛暑の影響で、一服感がみられる。

7月の乗用車新車登録台数は、7か月ぶりに前年を下回った。車種別にみると、普通車は5.1%減、小型車が3.9%増となった。7月の軽自動車届出台数は7か月連続で前年を上回った。

【観光関連】... 減少

7月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、前年を下回った。関東、関西、九州、香港からの入り込みや個人客、団体客ともに減少した。足もとでは自然災害やインバウンドの減少などの影響がみられる。

鹿児島地区は、関東からの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、2か月連続で前年を下回った。

霧島地区は、九州からの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、3か月連続で前年を下回った。

指宿地区は、個人客、団体客ともに減少し、2か月連続で前年を下回った。

種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を下回り、奄美地区は10か月ぶりに前年を下回った。

7月の主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

【投資関連】... やや弱含み

7月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

6月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額ともに前年を下回った。

6月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲がいずれも前年を大幅に下回り、全体では3か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、32.1%減となった。

6月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、3か月ぶりに前年を下回った。

【貿易関連】... 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

6月の輸出額は、パルプ及び古紙、食料品及び動物が前年を下回ったものの、ゴムタイヤ及びチューブ、木材が前年を上回り、全体では6.6%増と2か月ぶりに前年を上回った。輸入額は、穀物及び同調製品、原油及び粗油が前年を下回り、全体で22.2%減と5か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】... 弱含み

6月の有効求人倍率は前月を0.03ポイント下回る1.08倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業、建設業、卸小売は前年を上回り、医療・福祉は前年をやや下回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

4月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.8%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を上回った

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が10件で前年同月（9件）を2か月ぶりに上回った。また、負債総額は20億84百万円で前年同月（19億98百万円）を上回った。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（Tel 099-225-7491）